

周辺地図



交通アクセス

- 武雄北方インターチェンジより国道34号線・車で約3分
- JR武雄温泉駅よりバスで約5分
- JR武雄温泉駅より徒歩約30分

受付時間

午前 / 8:30～11:30

午後 / 14:00～16:00

※但し急患の場合はこの限りではありません。

一般社団法人 巨樹の会

新武雄病院

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地

ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>

E-mail info@shintakeo-hp.or.jp

TEL 0954-23-3111

一般社団法人 巨樹の会

新武雄病院

入院のご案内

ご入院される患者様へ

この度のご入院に際し、心より御見舞い申し上げます。
職員一同、貴方様のご病気が早く快方に向かわれ完治なさいますようにお手伝いさせていただきます。
また、入院生活はそれぞれの患者様が最適の治療と看護が受けられるために計画的にスケジュールされています。どうぞご協力頂き療養の効果をあげられまして、一日も早く全快されますようお願い致します。



SHIN TAKEO HOSPITAL

目次

患者様の権利と義務	1
入院の手続き	2
入院生活	4
退院の手続き	15
リハビリテーションに際して	17
その他のご案内	18
医療相談	20
個人情報について	21

理念

手には技術 頭には知識 患者様には愛を

基本方針

1. 高度医療

学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. チーム医療

患者様の目線に立った安全で安心できるチーム医療を提供すべく、急性期医療から、早期リハビリ、退院支援までニーズに沿った医療を提供します。

3. 地域医療

いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域の中核病院を目指し、地域の医療施設・福祉施設と密接な連携を推進します。

患者様の権利と義務

1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確で分かり易い言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利、また、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。

4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利があります。

患者様は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

7. 積極的に医療に参加する権利と協力する義務があります。

より良い医療を受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と、他の患者様や医療従事者に支障を与えないよう配慮して頂く義務があります。

研修・実習についてのお知らせとお願い

当院は臨地実習病院となっています。薬学部学生、医療専門学科学生、看護学生、救急救命士、その他各職種の実習生が、それぞれの目的を持ち研修・実習を行っております。

研修・実習は当院指導者の指導監督のもと行っております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

入院の手続き

1. 入院当日に来院されましたら、入院案内（1階）にて手続きを行います。
下記のものをご用意願います。



- ① 診察券
- ② マイナンバーカード(又は健康保険証)・各種受給者証
高齢者医療受給者証、各種健康保険限度額適用認定証、介護保険被保険者証、各種公費、負担医療受給者証など
- ③ 紹介状(退院証明証含む)(他医療機関からの紹介による)
- ④ 入院証書
- ⑤ 実費徴収に関する同意書

2. ご入院される病棟に移動されましたら、スタッフステーションに下記の書類をご提示下さい。

- ⑤ 各種(検査・手術)同意書(事前に当院より渡されている場合に限り。)
- ⑥ 特別療養環境室申込書・設備等貸与利用(中止)申込書・患者様情報シート(別途書類があります。)

3. 入院予約の方は、ご入院していただく時間や病棟は、前もってお知らせしていますが、諸般の事情により、変更させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。

持参品

- 1. 下着類
- 2. タオル・バスタオル
- 3. 洗面用具(ハブラシ、コップ)
- 4. ティッシュペーパー
- 5. はきもの(すべりにくい靴タイプが安全です)
- 6. サージカルマスク(不織布マスク)
- 7. 寝まき・パジャマ(有料貸与可能)
※但し、診察・処置等、診療上の必要な場合は、規定の病衣を着用していただく事があります。
- 8. トレーニングウエア(有料貸与可能)(回復期病棟のみ)
- 9. その他(現在服用中のお薬、お薬手帳、義歯ケース、楽のみ、眼鏡ケース、髭剃り、洗濯物入れ、その他携帯品等)

※荷物には他の患者様のものと間違えないよう、記名をお願いします。

※貴重品の持ち込みはご遠慮下さい。

※危険物(刃物・ライターなどの火気類)の持ち込みは防犯上大変危険ですので禁止しております。

※院内へのたばこ(電子たばこを含む)、酒類の持ち込みは固くお断りしております。

- お車でのご来院はご遠慮いただいております。(19ページ参照)
- 病院正面玄関に、お荷物用のカートをご用意しております。ご自由にご使用下さい。
- ご希望される方はバスタオル1枚、フェイスタオル1枚をナースステーションより貸出ししております。
- 箸・スプーン・湯飲みは各食事の時についていますので、持ち込みの必要はありません。

入院期間について

当院は急性期医療型病院であり、原則としてご入院期間は2週間以内となっております。

回復期医療や慢性期医療の対象となった場合、諸般の都合によっては、退院や転医をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

患者様、ご家族様は当院の病院形態をご理解頂きますようお願いいたします。

● 急性期医療とは

症状・徴候の発現が急激で、生命の危機状態にあり、経過が短い。手術による治療や症状が急激に状態変化し、全身管理を必要とする時期。

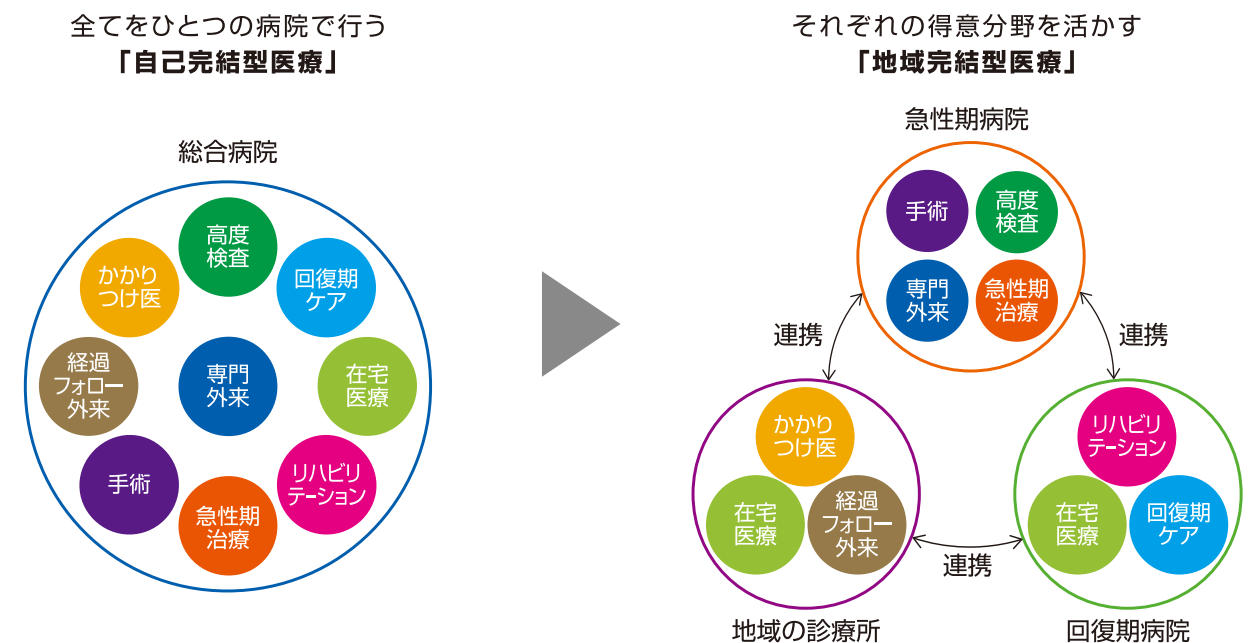
● 回復期医療とは

生命の危機状態から脱し、症状が安定に向かっている時期。機能障害の程度に応じた日常生活・社会生活に適応を促す時期。

● 慢性期医療とは

症状・徴候は激しくないが、治癒することが困難な状態が長期間にわたって持続する時期。長期間の管理、観察、あるいは治療、看護が必要とされる時期。

国では1992年以来、医療機関を機能別に体系化することに取り組んでいます。この医療政策には、それぞれの医療機関に明確な役割と機能を持たせることによって人々の大病院志向に歯止めをかけ、患者様一人ひとりの症状に合った医療機関で、適切な医療を受けられる仕組みです。



当院は急性期病院であり、緊急の患者様の受け入れを最優先としています。
予約入院の場合であっても、入院日当日の調整を行う場合がございますのでご了承ください。

ご入院に関して

ご入院中は治療方針・看護方針に基づいて療養していただきますので、1日も早く健康を回復されますように、医師の指示・看護師の指導にご協力下さい。

ご入院中、当院における治療や看護にご協力いただけない場合には、患者様及びご家族様のご意思に関わらず、退院していただく事があります。

(上記の他、入院中に騒いだり、飲酒、喫煙、宗教活動、勧誘行為、物品の購買を強要するなど、他の患者様に迷惑をかけた場合など)

他院での診療・投薬に関するお願い

- 原則として、当院入院中に他院での診療や投薬を受けることはできません。また、家族の方が薬だけ取りに行くこともできません。
- 入院中に当院以外の病院・医院へ受診(薬のみも含む)される場合は、必ず主治医・看護師へご相談下さい。
- 主治医が当院ではできない専門的な診療や治療が必要と判断した場合は、他院への紹介をさせていただきます。

〈例えば〉

- 当院入院中に『他の病院や医院の先生に処方してもらった薬』が切れる。
- 当院に入院している間に『他の病院や医院の診療予約日』が来る。
- 持病があるため『当院から出ている薬』とは違う薬が飲みたい。
- 当院の他に『定期的にかかっている病院や医院』がある。

上記のような場合は、必ず事前にお知らせ下さい。

入院中に他の医療機関を受診される場合は、事前に受診先の医療機関と当院で診療費のお支払い方法等の調整を行う必要がありますので、必ずご相談くださいますようお願いいたします。

もし、ご相談無しに他の医療機関を受診された場合、その費用は健康保険の給付適用外(自費)になり、後で判明した場合は遡って精算することになります。

ご入院中の過ごし方

● 食事

● 食事時間

朝食	昼食	夕食
7:30 頃～	12:00 頃～	18:00 頃～

食堂に給水機がございます。ご自由にご利用下さい。

- 配膳時間は各病棟で順番に行っていますが、場合によって前後することがございますので、あらかじめご了承下さい。
- お食事は、治療上及び感染症予防からも、自炊・出前・持ち込みはできません。
- お食事は、火・木・土曜日については食事内容が選択できます。事前にお伺いします。(全ての方ではありません)(朝：ご飯またはパン、夕：肉または魚)
- 食事についての希望、相談等がございましたら、看護師に声をかけて下さい。管理栄養士が相談に伺います。ご病気や状態によっては治療食となります。
- お食事の申し込み・変更は、締め切り時間が設けられています。患者様の希望による締め切り時間後のキャンセルは、患者様のご負担となりますのであらかじめご了承下さい。
- 1週間分の献立表を、食堂前の掲示板に掲示しています。
- 病状によっては、食事制限のある方もいらっしゃいますので、患者様同士での食べ物のやりとりはお控え下さい。
- 各病棟には、入院患者様専用の食堂を設置しています。できる限り離床されて、景色が見える広い食堂での食事をお勧めいたします。

● お薬について

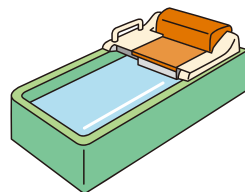
当院では、患者様のお薬を、薬剤師が確認させていただきます。他院で処方されたお薬や、市販品、健康食品など、使用しているお薬を全てお持ち下さい。

また、お薬ノートをお持ちの方は、一緒にお持ち下さい。

- 同種類のお薬が重複しないように、医師・看護師・薬剤師が確認いたします。
- 入院中は、原則、現在の病状に合わせて当院の医師が処方します。医師の指示に従っていただきますようお願いいたします。

●入浴

- ご入浴は 8 階の展望浴場です。
展望浴室、シャワー室がご利用できます。
展望浴室へは食堂側のエレベーターをご利用下さい。



●ご利用時間

曜日	男性	女性
月	9:30～12:00	13:00～16:30
火	13:00～16:30	9:30～12:00
水	9:30～12:00	13:00～16:30
木	13:00～16:30	9:30～12:00
金	9:30～12:00	13:00～16:30
土	13:00～16:30	9:30～12:00
日	9:30～12:00	13:00～16:30

- 浴室には石鹸、シャンプーを準備しています。
体を洗うタオルは各自でご準備頂くようお願いいたします。
- 病状によりご自身で入浴できない場合は、看護職員の介助により特殊浴で入浴となります。
- 病状や自立度によって入浴できない場合はタオル清拭となります。
- 入浴中に気分が悪くなった場合は**緊急呼出ボタン**を押して下さい。すぐに看護師が伺います。

●起床・就寝

- 起床時刻・就寝時刻につきましては、次のように定めております。

起床	就寝(消灯)
6:00～	21:00

- 睡眠を十分にお取り頂くように、消灯時間を 21:00 に定めておりますのでお守り下さい。

●喫煙・飲酒

- 喫煙は、体への悪影響を及ぼすのみでなく、火災の原因となります。当院では、健康増進法に基づいて、入院患者様はもとより、ご来院の皆様の健康をお守りするため、『敷地内全面禁煙』となっております。病院敷地内での喫煙はされませんようお願いいたします。院内へのたばこ（電子たばこを含む）の持ち込みは固くお断りしております。
- ご入院中の飲酒は、治療・療養の妨げとなりますので厳禁です。

●電子機器ご利用について

病棟のデイルームおよび病室、各科待合、受付では、お手持ちの携帯電話、スマートフォン・タブレット端末・パソコンをご利用頂けます。
ご利用の際は、下記注意事項をご確認の上、他の病院利用者のご迷惑にならないようマナーに十分配慮して、ご自身の責任においてご利用頂くようお願いいたします。

●無料 Wi-Fi

当院では、無料 Wi-Fi により、インターネットを自由にご利用頂けます。

【ご利用可能エリア】

2 階内視鏡エリアを除く、全館すべてのエリアにてご利用頂けます。

【接続方法】

SSID：TakeoHospG のみ接続可能です。

【ご利用にあたっての注意事項】

- ご利用にあたって必要な機器は、ご自身でご用意ください。病院からの貸出しはいたしません。
- 接続や設定方法など、利用に関する技術的な対応や個別のサポートは行っておりませんのでご了承ください。
- 電波受信状態、回線速度に関しての保証はできません。
- ウイルス対策等セキュリティに関しては、ご自身の責任において、保護・管理いただきますようお願い申し上げます。
- 当院の無料Wi-Fiのご利用により万が一何らかの損害が発生しても一切の責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 診療や検査・療養に支障をきたす恐れがある場合は、職員の指示で使用を中止させていただきます。
- 当院の無料Wi-Fiは、電子カルテ等の医療情報システムとは別のネットワークを利用しており、患者情報（個人情報）への危険はありません。
- 心臓ペースメーカーなどの植込み型医療機器の装着部位付近に、電波を送受信する端末を近接した場合誤作動を起こす可能性がある為、使用には十分ご配慮下さい。

●外出・外泊

- やむを得ず外出や外泊を希望される場合は、必ず医師または看護師にお申し出をいただき、確認・許可（外出・外泊届をご記入いただきます。）を受けて下さい。
なお、無断で外出や外泊をされた場合は、患者様が当院での治療を受ける意思がないものと判断し、退院とさせていただきます。
- 食事代は 1 食ずつ算定されますので、外出・外泊の際は、許可申請書に「要・否」を明確に記載し、配膳時間の 1 時間前までに必ずお知らせ下さい。お知らせがない場合は、お食事をされなくても、食事代をご負担いただきます。

- 外出の場合は、外出用はきものに履き替えて下さい。また、病衣(寝巻)のまま外出されませんようお願いいたします。

● ゴミの分別

- ゴミは所定の場所に分別(缶・ペットボトル等)して出していただきますようお願いいたします。

● テレビ・保冷庫のご利用について

- 病室では大きな声で話をしたり、テレビの音で他の患者様のご迷惑にならないようお願いいたします。テレビの視聴はイヤホン(病棟自販機にて販売しております。)をご利用下さい。
- 他の患者様の安静のため、ご利用時間は6:00~21:00とさせていただきます。
- テレビリモコンの紛失については、機器代金の負担として2,500円+(税)ご請求させていただきます。
- テレビ・保冷庫のご利用は別途料金が掛かります。(設備等貸与利用(中止)申込書の申請が必要です。)

● 保安・秩序

- 身の回りの品の管理には、十分お気をつけ下さい。また、高額な現金や貴重品類をお持ちにならないで下さい。**盗難・紛失・破損に関して、当院は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。**また、入れ歯・補聴器・眼鏡などの破損、紛失につきましても、十分ご注意ください。なお、貴重品の保管につきましては、床頭台に設置しております**セイフティーボックスのご利用をお勧めいたします。**



● セーフティーボックス(金庫) ※セイフティーボックスは利用料の負担はありません。

盗難発生を防止するために、所持金、貴金属の管理には充分にご注意下さい。

特に高齢者の方の中には、以前は大丈夫であっても環境が変わることで管理ができなくなることもありますので、ご注意ください。

- 床頭台のセイフティーボックスは、専用の鍵により右引き出しをご利用下さい。
- ネックレス・指輪などの貴金属類も外して、ご自宅で保管されるか、備付けのセイフティーボックスをご利用下さい。



- 現金や財布、お見舞い袋を枕の下、枕カバーの中、シーツの下等に置かないで下さい。週1回一斉にシーツ交換しますので、紛失の恐れがあります。
- 当院では、現金やお見舞金などは一切お預かりいたしませんので、ご了承下さい。
- 印鑑は、入院証書の記入の際に必要ですが、貴重品ですので、ご使用後はご家族の方にお預けいただくようお願いいたします。
- 入院中の鍵の管理はご自身でお願いいたします。鍵を紛失した場合は、病棟職員までご連絡下さい。紛失された場合は、鍵代として500円+(税)をお支払いしていただきますのでご了承下さい。

安全で不安のない入院生活のために

看護体制は、受け持ち制とチーム制になっております。担当看護師とメンバーで、患者様の入院から退院まで責任を持ってお世話します。

また、看護師のみならず、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、社会福祉士など、他全職員で患者様にとってより良いケアができるようサポートいたします。

● 看護師は1日2交代で勤務しています

- 毎日の看護については、その日の担当者が決められております。受け持ち看護師やその日の担当看護師に何でもご遠慮なく相談して下さい。
- 当日の担当看護師が朝・夕にご挨拶に参ります。

● 院内での転倒・転落事故防止について

- 入院生活はこれまで住み慣れたご自宅の生活環境や習慣と大きく異なりますので
思いがけない転倒・転落事故が起こりやすくなります。
- 入院中のはきものについて
転んだり、つまづいたりしないよう、**はきもの**に、ご注意ください。



靴タイプのもの ○



スリッパは 禁止 ×

● 患者様の安全に配慮し看護用具を使って保護をさせていただきます

- 患者様の病状や状態により、やむを得ず保護帯の必要な時は患者様やご家族のご了解を得て保護帯を使用させていただきます。

● 患者様を確認させていただくためのルールにご協力ください。

- リストバンドを付けていただきます。
注射などの処置を行う時だけでなく、検査や手術など、病棟以外でも患者様確認する時に使います。
- 名字だけでなくフルネームで確認させていただきます。
同姓の方がたくさんいらっしゃいます。
患者様を間違えないために、名字と名前で確認します。
- 患者様にお名前を名乗っていただきます。
聞き間違いを防ぐため、患者様に名乗っていただいて確認させていただくようにしています。
生年月日をお尋ねすることもあります。



● ナースコールについて

- 各ベットには、ナースコール(看護師呼び出し)のボタンがあります。御用の際は遠慮なくご利用下さい。

● 点滴時のご注意

- 点滴を受けられる患者様は、移動の際などは以下の点に十分ご注意くださいようお願いいたします。
- 点滴のチューブが手すりやベッド柵などに引っかかってしまう事があります。



はいけっせんそくせんしょう
肺血栓塞栓症の予防法

自ら行う

肺血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)とは

肺の血管に血栓(血のかたまり)が詰まって、突然、呼吸困難や胸痛、動悸(ドキドキする)などを起こす病気です。

※この病気は、長時間飛行機に乗った際に足の血流が悪くなり起こったことから「エコノミークラス症候群」とも呼ばれています。

どうして起こるの?

入院後、ベッド上で足を動かさないと、足の血の流れが悪くなり、血栓ができやすくなります。その血栓が何らかのきっかけで肺まで流れて起こります。

**肺血栓塞栓症を
予防するためにできること**

出来る範囲で足先を前後に動かしましょう。
そうすることで足の筋肉が動き、
血のめぐりがよくなります。

POINT!

※足首を動かすことについては、医師の許可を得てから実施しましょう。



こんなときは?

いつもと違う症状

- 息苦しさ
 - 胸痛
 - 動悸(ドキドキする)
 - 足の痛み など
- があったときは、医師・看護師に伝えましょう。

● 当院での「静脈血栓塞栓症リスク対策」について

全入院患者様を対象に「静脈血栓塞栓症リスク評価」を行い、リスクに応じて検査を行います。

- 採血検査:

血栓ができる兆候を判断します。



- エコー検査:

下肢エコー・心エコー検査を行い
血栓の有無を確認します。



リスクが高い患者様に対して、医師の指示により以下の**静脈血栓塞栓症予防対策**を実施する場合があります。

- 弾性ストッキング:

医療用弾性ストッキングの着用により、下肢の深部血管の血流が速くなり、血栓ができることを予防します。



- 抗凝固剤の注射や内服:
血液を固まりにくくします。

- 下肢間歇的圧迫装置:

専用ポンプを使用し、下肢に空気圧を加えることで
血流の流れを促します。



ご不明な点がございましたら、医師又は看護師へお尋ねください。

ご面会・付き添い

入院中の患者様の安全確保・防犯対策の為、病棟への立ち入りを管理することを目的として、次のように定めております。

● 面会時間

平日・日祝祭日

13:00～20:00

● 面会方法

- 各病棟にて「面会受付表」を記入していただき、面会許可証(ネックストラップ)を配布します。
- 面会終了後、病棟スタッフへ面会許可証を返却して下さい。

※面会許可証の確証が出来ない場合は、防犯対策のため、職員がお声掛けすることがあります。あらかじめご了承下さい。

● 面会について

- 患者様の治療上の都合やご容態等によっては、ご面会をお断りしたり、しばらくお待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承下さい。
- 患者様の安静療養のため、面会時間をお守り下さい。また、ご面会はできるだけ短時間でお済ませ下さい。特にICU(特定集中治療室)、HCU(高度治療室)はご面会を制限させていただいております。
- 感染予防上、年齢や人数制限がある場合があります。また、ペット類の持ち込みは固くお断り致します。お子様は免疫力が弱いことが考えられるため、お子様連れでのご面会をご遠慮下さい。
- お見舞い品の病室内への持ち込みは、患者様の治療・療養の妨げとなる場合がありますので、必ず職員にご相談下さい。
- ご面会の際には、病棟の談話室をご利用下さい。他の患者様へのご配慮をお願いいたします。
- 感染予防上、面会の方は、病室内での飲食をご遠慮下さい。
- 入室される際には、感染症予防の為に必ず手指消毒をして病棟にご来棟下さい。
- 香りの強い花や香水は他の患者様のご迷惑になる場合がありますので、お控え下さい。

● 付き添い

- ご入院中は、原則として付き添いの必要はありません。
- 職業付き添いは、固くお断りいたします。
- 主治医の許可のもと、ご家族の方が付き添うこともできます。詳しくは病棟師長までお尋ね下さい。

その他のお願い

● 病棟・病室の移動について

- 病状の経過や諸般の事情により病棟や病室の移動をお願いする場合がございますので、ご協力お願いいたします。

● お電話のお取次ぎ

- 患者様へのお電話のお取次ぎを希望される場合は代表電話番号(0954)-23-3111(代)へおかけ下さい。
- 患者様の治療上の都合やご容態等によっては、お取次ぎできないことがありますので、ご了承下さい。また、電話での病状説明や、患者様の入退院の問い合わせは原則としてお断りしております。
- やむを得ない、急用の場合以外のお電話はご遠慮下さい。特に夜間の電話や長時間に渡る電話は、他の入院患者様の安静に支障をきたすこともありますので、ご配慮をお願いいたします。
- 固定電話を設置している病室があります。電話料金は、入院費に含んでご請求いたします。※「0」発信後にお掛け下さい。「0」+(市外局番)+電話番号

● 喫煙について

- 当院は健康増進法に基づいて、『敷地内全面禁煙』となっております。病院敷地内での喫煙(電子たばこを含む)はされませんようお願いいたします。喫煙(電子たばこを含む)をされている方へは職員よりお声掛けさせていただきます。あらかじめご了承下さい。
院内へのたばこ(電子たばこを含む)の持ち込みは固くお断りしております。
- 入院時にたばこ(電子たばこを含む)を持参された場合はご家族様にお持ち帰りいただくようお願いいたします。
- 入院中にたばこ(電子たばこを含む)の所持があれば、スタッフがお預かりいたします。
- 喫煙(電子たばこを含む)行為をされた場合、患者様及びご家族様のご意思に関わらず、退院していただく事があります。



● シーツ交換・病衣について

- 毎週 1 回、シーツ交換を行います。汚れた場合は随時交換いたします。
お申し出があれば、病衣(有料)を貸出しいたします。
(夏：週 3 回交換 冬：週 2 回交換)
- 普段着慣れた寝巻き、パジャマでもかまいません。(持ち込みは自由)
但し、診察・処置等、診療上の必要な場合は、規定の病衣を着用していただく事があります。

● ご意見・ご要望について

- より良い病院・病棟づくりのため、忌憚ないご意見・ご要望をお寄せ下さい。
- 各病棟のデイルームにご意見箱を備えています。



● その他

- 診断書などの書類関係は、1 階受付でお申し込みをお願いいたします。
書類の内容により出来上がりまで期間がかかるものがありますので、ご不明な点は総合受付でご相談下さい。
- 1 階・2 階は外来診療を行っております。1 階待合ロビー、2 階待合ロビーでのご滞在はご遠慮下さい。
- 病室内清潔保持のため、汚物や紙くず等は所定の容器にお捨て下さい。
- 病院の建物及び病院敷地内の備品等は大切にお取り扱い下さい。
- 病院職員へのお心遣いは、固くお断りしております。
- 院内で許可なくビデオ撮影や動画撮影、写真撮影、録音などはご遠慮下さい。

その他、ご不明な点などがございましたら病院職員へお尋ね下さい。

退院の手続き

- 退院につきましては、主治医の許可がございましたら、病棟師長と日程をご相談下さい。
- 特別な場合を除いて、退院のお時間は 10:00 となっております。
但し、諸般の都合により前後する場合があります。
- 入院費概算のご希望がありましたら、事務職員または看護師にお声かけください。
- 退院の手続きは病棟看護師が説明に参りますので、お部屋で連絡をお待ち下さい。
- お手回りのお荷物、保冷庫内・セイフティーボックス内を今一度ご確認の上、お忘れ物のないようにご退院下さい。
- 患者様のご都合や諸般の都合により、急遽退院となる場合がございます。ご了承下さい。
- 退院時処方(お薬)がある場合は 1 階でお支払後に薬剤師よりお渡しいたします。

● お支払に際して

- 毎月 1 回、マイナンバーカード(又は健康保険証)及び各種医療保険受給者証の確認をさせていただきます。
- ご入院中に保険証及び各種医療保険受給者証が変更になったり、更新がなされた場合には、必ず入院案内(1 階)へご提示下さい。ご提示いただけない場合、保険診療の取扱いが出来ない場合があります。
- 交通事故による負傷は、保険診療に該当しない場合があります。詳しくは入院案内(1 階)へお尋ね下さい。
- 業務中及び通勤途中での事故・災害による負傷は、労災保険の適用となります。
詳しくは入院案内(1 階)へお尋ね下さい。

入院費用の請求・お支払い方法

1. 退院当日

- ① 病棟の担当者よりお渡しします「入院費のお知らせ」に、ご負担金を記載しております。
- ② ご確認の上、「退院証明書引換証」を会計（1階）までお持ち下さい。お支払の後、請求書兼領収書・退院証明書をお渡しいたします。
※原則として、退院当日にお支払いをお願いしております。

2. 入院中

- ① 月をまたいで継続してご入院されている患者様には、月末締めのご請求金額を、翌月の10日頃に担当者からお知らせいたします。
- ② 原則として、請求金額のお知らせから、1週間以内にお支払いいただきますようお願いいたします。
※業務の都合上、お支払いは午後4時までをお願いいたします。

3. その他

- 患者様のご都合や、諸般の事情により急遽退院となる場合があります。その際のお支払いについては1階窓口で相談下さい。
- 日祝日のご退院は平日と手続きが異なります。看護師または事務職員へお尋ね下さい。
- お支払いについてはクレジットカードがご使用頂けます。お取り扱いできない会社もありますので、1階窓口でご相談下さい。

リハビリテーションに際して

● 当院では早期離床、早期回復のためリハビリテーションを積極的に行っています

ご本人様の一日も早いご退院を願い、リハビリテーションのお手伝いを精一杯させていただきます。つきましては、下記の内容についてご理解とご協力をお願いいたします。

1. リハビリの開始に際して

身体機能強化のための運動、退院後を見据えた生活動作指導などを行いますので、

- ① 『普段着あるいは運動着』
 - お申し出があれば、トレーニングウェア（有料）（回復期病棟のみ）を貸出いたします。
- ② 『履きなれた靴あるいは運動靴』
- ③ 『現在までご使用だった杖、歩行器など』をご準備していただく場合があります。
 - 現在ご使用の物をご準備いただき、新たに購入されなくても結構です。
 - なお、病院貸与の病衣につきましては、就寝時に使用させていただきます。
 - 追加で準備して頂くものがあれば、リハビリ職員より再度ご相談させていただきます。



2. 退院に際して

- 必要に応じ、ご自宅の環境を参考に動作指導などをさせていただきます。
- 遠方よりお越しの方につきましては、写真の提出をお願いする場合があります。必要の際はご協力をお願いいたします。
- 退院後も医師の指示のもと、外来リハビリ、訪問リハビリのご利用が可能です。（※訪問リハビリ利用には介護保険の認定が必要です。）
詳細はスタッフへお気軽にご相談ください。

防災について

● 災害発生時

- まず、病院職員が災害の状況や避難経路の確認・確保を行います。入院時に避難経路のご確認をお願いいたします。
- 非常災害時は、安全面の観点からエレベーターの使用は出来ません。

● 避難指示・避難指導

- その後、各病棟の火元責任者(病棟師長)より、避難指示・退避誘導を行います。それまでは各病室で待機して下さい。
- 災害発生時は非常放送がかかります。非常放送に耳を傾けて、職員の指示・誘導に従っていただくようお願いいたします。
※単独行動は大変危険ですので、絶対におやめ下さい。

● 煙の性質

- 煙は空気より軽いため、上へ上へと昇っていく性質があります。火災時はできるだけ姿勢を低くして、また、タオル等で鼻や口を覆い、煙を吸い込まないように退避して下さい。当院では、患者様の安全を第一にお守りするため、防災については、年2回防災計画に基づく訓練及び避難経路の整備を行っております。訓練の際は非常放送・非常ベル等が鳴りますがご了承下さい。

その他の設備

● 売店

- 1階正面玄関を歩いて右手にございます。

	月～金曜日	土曜日	休日
院内販売	9:00～15:00	9:00～14:00	定休
病院前	8:00～18:00	8:00～18:00	9:00～13:00

● レストラン

- 1階正面玄関を歩いて左手にございます。

	月～土曜日	休日
営業時間	10:00～16:00	定休

※15:00 オーダーストップ

● 自動販売機

- 1階正面玄関横と時間外玄関横、各病棟に設置しています。

● 公衆電話

- 1階時間外玄関横に設置しています。

● コインランドリー

- 8階に設置しております。
ご利用の際はご入院されている病棟のスタッフにお申し出下さい。

	料金	利用時間
洗濯機	1回 100円(約30分)	7:00～19:00
乾燥機	1回 100円(約60分)	

- 病棟の洗面所での洗濯はご遠慮下さい。
- カーテンレールに物を掛けないようお願いいたします。

● 郵便ポスト

- 正面玄関を出て左手にございます。

● 出入口開閉時間

	平日	休日
正面玄関	7:00～17:30	閉錠
時間外玄関	24時間開錠	

- 消灯時間以降のご面会については、時間外受付にお声かけ下さい。

● 防犯カメラ

- 安全確保、防犯対策の為防犯カメラを設置しております。

● 駐車場

- 当院駐車場で発生した事故等に関しましては、一切責任を負いかねます。
- 入院中は駐車場のご利用は出来ませんので、自家用車での来院はご遠慮下さい。やむなく、当日入院となり駐車される場合は、必ず職員にお申し出下さい。
- 当院の駐車場は調整池となっております。大雨の際は冠水の恐れがありますので、ご注意下さい。

● ローターリー

- 外来患者様含め多くの方が送迎のため利用されますので、長時間の駐車はご遠慮下さい。

病院は療養の場です。患者様の安静のため、不要不急の来院はご遠慮いただいております。

医療相談について

病気で治療に通ったり、入院したりすると、健康なときには思いもよらなかった様々な心配ごとが起こるものです。

医療相談窓口では、専門の相談員や、医療ソーシャルワーカー等が、お話しを伺い、一緒に解決のための方法を考えさせていただきます。

相談をご希望される方は直接1階総合受付横「相談窓口」にお越し下さるか、看護師など職員にお申し出ください。

● 対応時間

平日	9:00～17:00
----	------------

(この時間以外は「時間外受付」へお申し出下さい。)

例えばこんなときに・・・

- 受診や入退院についての相談。
- 入院してからの生活費や医療費の支払いが心配。
※当院は法人税法に基づき診療費減免制度を行っております。
- 療養上の不安、困りごとがある。
- 身体障害者手帳、障害年金、介護保険などの制度について知りたい。
- その他、誰に相談して良いかわからない場合。
- 相談の内容によって、医師や看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士などと相談し、必要に応じて、地域の関係機関や専門の相談機関をご紹介します。

なお、患者様やご家族様のプライバシーは厳守させていただきます。
どうぞお気軽にご相談下さい。

退院後の在宅療養

介護保険制度は、介護をする方のご負担を少しでも軽減するための制度でもあります。

介護の負担が大きい、または不安が残ると思われる方は、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーがご相談に応じますので、お気軽に病院職員へお問い合わせ下さい。

● 対応時間

平日	9:00～17:00
----	------------

患者様の個人情報保護について

当院では患者様の個人情報の取り扱いにも万全の体制で取り組んでいます。

● 個人情報の利用目的について

- 当院では患者様の個人情報を院内での利用や、院外への情報提供等で利用させていただく事がございます。詳細は院内掲示をご確認いただくか、窓口までお尋ね下さい。

● 個人情報の開示・訂正・利用停止について

- 当院では個人情報の開示・訂正・利用停止につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定に従って進めております。
手続きの詳細ほか、ご不明な点につきましては、窓口までお気軽にお尋ね下さい。

● 病室における名札・ベッドネームの掲示について

- 当院では、患者様の取り違え防止、及び業務を適切かつ安全に実施する観点から、原則として病室における名札・ベッドネームの掲示を行っています。名札・ベッドネームの掲示をご希望されない場合は、スタッフステーションまでお申し出下さい。なお、このことで患者様が不利になることはありません。

● 面会者への対応

- 当院では、面会に来られた方に対する入院病棟及び病室の案内は、当院の個人情報保護規定の範囲で行っています。面会に来られた方に対する入院病棟及び病室の案内をご希望されない場合は、スタッフステーションまでお申し出下さい。なお、特定の人に限る案内は、実務上困難を伴いますので、ご要望に答えられない場合があります。

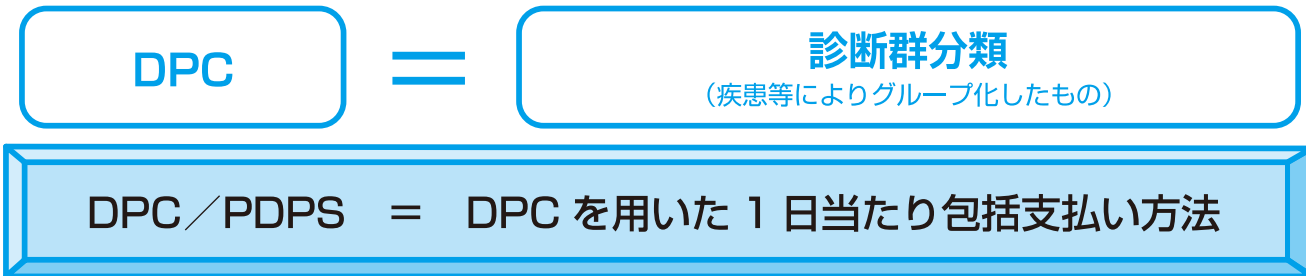
● 電話への対応

- 当院では、患者様がご入院されているかどうかについてのお問い合わせがあった場合や、患者様宛てにお電話がかかってきた場合など、その応答は当院の個人情報保護規定の範囲で行っております。ご入院の有無の返答や、電話応答を拒否してほしい場合は、スタッフステーションまでお申し出下さい。なお、特定の人に限る応答拒否は、実務上困難を伴いますので、ご要望に答えられない場合があります。

入院医療費の計算方法について

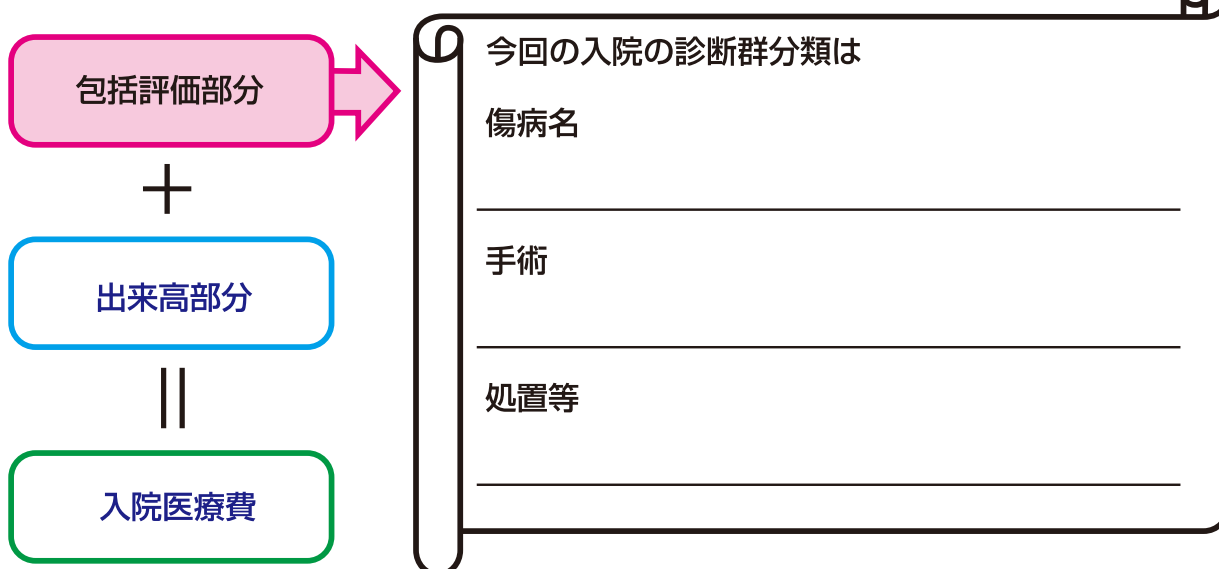
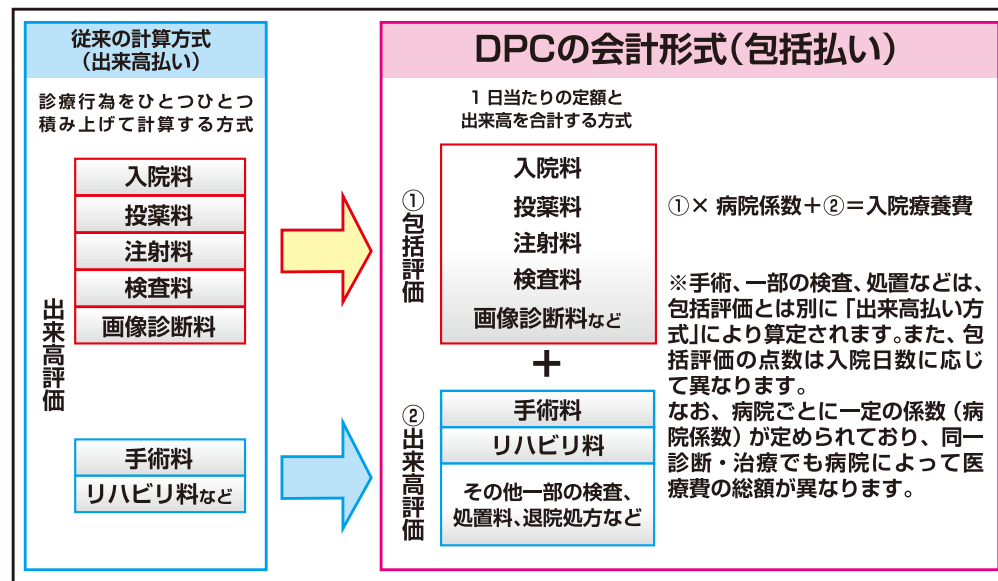
当院では「包括評価制度(DPC/PDPS)」を導入しております。

MEMO



計算方法

個々の診療行為ごとに算定していた医療費を、患者様の病気や状態を基に処置等の内容に応じて定められた 1 日当たりの定額点数を基本に計算致します。



今回の入院の診断群分類は

傷病名 _____

手術 _____

処置等 _____

※診断群分類については、現時点で考えられるものであり、今後の治療を進めていくに従って変更することがあります。また、患者様の病気、治療内容によってはこの制度の対象とならない場合もあります。

MEMO